



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本パーカライジング株式会社  
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 乾太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田村 裕保  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

TEL 03-3278-4333  
 2019年6月28日  
 配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	129,207	12.5	17,023	△5.3	20,130	△3.0	11,424	△10.2
2018年3月期	114,840	4.8	17,984	6.2	20,750	10.5	12,721	4.0

(注) 包括利益 2019年3月期 7,999百万円 (△60.5%) 2018年3月期 20,256百万円 (40.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	94.20	—	8.2	9.2	13.2
2018年3月期	104.85	—	9.7	10.0	15.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 1,134百万円 2018年3月期 1,036百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	218,818	166,759	64.2	1,167.46
2018年3月期	219,988	163,255	62.9	1,140.28

(参考) 自己資本 2019年3月期 140,457百万円 2018年3月期 138,352百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	17,292	△10,299	△5,663	53,726
2018年3月期	19,238	△4,739	△4,041	53,149

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00	2,844	21.9	2.1
2019年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00	2,713	23.4	1.9
2020年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00		22.1	

(注) 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,500	△4.4	17,500	2.8	20,600	2.3	12,000	5.0	99.74

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1 社 (社名) 日照パーカー表面処理有限公司、除外 1 社 (社名) パーカー興産株式会社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	132,604,524 株	2018年3月期	132,604,524 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	12,294,162 株	2018年3月期	11,272,204 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	121,279,001 株	2018年3月期	121,334,493 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	51,381	10.1	5,166	△9.2	9,305	△8.4	8,933	15.1
2018年3月期	46,687	7.6	5,692	4.9	10,154	16.8	7,764	3.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	71.99	—
2018年3月期	62.53	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年3月期	115,524		82,678		71.6	672.86		
2018年3月期	114,643		81,751		71.3	658.37		

(参考) 自己資本 2019年3月期 82,678百万円 2018年3月期 81,751百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計方針の変更)	15
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 補足情報	20
(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	20
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	21
(3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)	22

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績や景況感が総じて良好な水準を維持するも、設備投資が増加し、雇用環境の改善が続くなど堅調に推移いたしました。一方、世界経済においては、米中の貿易摩擦問題をはじめとした海外経済の不確実性の高まりなどもあり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、国内の自動車生産は比較的堅調なもの、中国をはじめ海外においては成長が鈍化し、米中貿易摩擦問題の影響も現れ始めております。もう一つの柱であります鉄鋼業界では、中国の減速リスクには警戒が必要なものの、国内外の鋼材需要は好調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループでは、3カ年の第二次中期経営計画の最終年度として、「事業基盤の強化・拡大」、「技術立社」、「企業体質の基盤強化」を三本柱に既存分野の更なる深耕、新規事業分野への積極的なチャレンジを推進してまいりました。また、お客様満足度を高める迅速で的確なサービスと高品質製品供給のために、グローバルな品質改善活動と開発体制強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
<b>当連結会計年度 (2019年3月期)</b>	<b>129,207</b>	<b>17,023</b>	<b>20,130</b>	<b>11,424</b>
前連結会計年度 (2018年3月期)	114,840	17,984	20,750	12,721
増減金額	14,367	△960	△620	△1,297
増減率	12.5%	△5.3%	△3.0%	△10.2%

**売上高**は129,207百万円と前連結会計年度(以下、前期)に比べ14,367百万円(12.5%)の増収となりました。装置事業において、期末に大型の設備工事物件を検収したことから大幅な増収となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が4.5%、装置事業が50.4%、加工事業が3.4%、その他が13.3%とすべてのセグメントにおいて増収となりました。また、地域別セグメントは、国内が12.1%、アジアが15.0%、欧米が3.3%の増収となりました。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

**営業利益**は17,023百万円と前期に比べ△960百万円(△5.3%)の減益となりました。連結子会社が増加した影響もあり、売上総利益は43,978百万円と前期に比べ780百万円(1.8%)の増益となりましたが、**販売費及び一般管理費**は26,955百万円と前期に比べ1,741百万円(6.9%)増加いたしました。その内訳は人件費が2.4%、経費が13.5%それぞれ増加いたしました。

**経常利益**は20,130百万円と前期に比べ△620百万円(△3.0%)の減益となりました。**営業外の収支**は3,106百万円の収入となり、前期に比べ340百万円(12.3%)増加いたしました。この結果、当連結会計年度の**総資産経常利益率**(ROA)は9.2%と前期に比べ0.8ポイント減少いたしました。

**親会社株主に帰属する当期純利益**は11,424百万円と前期に比べ△1,297百万円(△10.2%)の減益となりました。この結果、当連結会計年度の**自己資本利益率**(ROE)は8.2%と前期に比べ1.5ポイント減少いたしました。

#### 【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で△316百万円程度の減収、営業利益で△54百万円程度の減益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位:百万円)

	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△)(営業利益)			
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減額	増減率	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減額	増減率
薬品事業	45,599	47,658	2,058	4.5%	9,465	8,581	△883	△9.3%
装置事業	20,292	30,514	10,222	50.4%	856	1,125	269	31.4%
加工事業	44,536	46,034	1,497	3.4%	8,682	8,354	△327	△3.8%
その他	4,411	5,000	588	13.3%	188	237	49	26.2%
調整額(消去)	—	—	—	—	△1,209	△1,277	△68	—
連結	114,840	129,207	14,367	12.5%	17,984	17,023	△960	△5.3%

## ① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は47,658百万円と前期に比べ2,058百万円(4.5%)の増収となり、営業利益は8,581百万円と△883百万円(△9.3%)の減益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では連結子会社の増加もあり増収となりましたが、海外での売上高は横ばいとなりました。収益面では原材料費の高騰や国内子会社の吸収合併による統合費用などの影響を受け、減益となりました。

## ② 装置事業

外部顧客に対する売上高は30,514百万円と前期に比べ10,222百万円(50.4%)の増収となり、営業利益は1,125百万円と269百万円(31.4%)の増益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内では堅調に推移し増収増益となりました。一方、海外では中国で大幅に増収となりましたが、受注環境は厳しさを増しており、収益率が低下したため減益となりました。

## ③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は46,034百万円と前期に比べ1,497百万円(3.4%)の増収となり、営業利益は8,354百万円と△327百万円(△3.8%)の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では自動車部品における加工処理の需要増加により、防錆・熱処理加工ともに順調に推移いたしました。海外では前期後半以降、メキシコの新工場が順調に稼動しております。収益面では、米国や中国で設備改修や加工処理不具合対応などのための一時的な費用が発生したこともあり、減益となりました。

## ④ その他

外部顧客に対する売上高は5,000百万円と前期に比べ588百万円(13.3%)の増収となり、営業利益は237百万円と49百万円(26.2%)の増益となりました。当事業部門は国内を中心に、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。

## 【投資情報】

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費(有形固定資産)	5,268	5,826
設備投資額(有形固定資産)	8,154	8,823
研究開発費	2,302	2,154
有利子負債	3,719	2,497

## (2) 当期の財政状態の概況

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し△1,169百万円減少し218,818百万円となりました。主な増減といたしましては、有価証券が1,611百万円、たな卸資産が1,039百万円増加いたしました。固定資産では有形固定資産1,078百万円、企業買収により発生したのれんなどにより無形固定資産が917百万円増加した一方で、投資有価証券の時価の減少などにより投資その他の資産が△4,931百万円減少いたしました。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し△4,673百万円減少し52,059百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では支払手形及び買掛金が863百万円増加した一方で、前受金などにより流動負債その他が△3,590百万円減少いたしました。固定負債では繰延税金負債が△1,282百万円減少いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し3,503百万円増加し166,759百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が8,455百万円、非支配株主持分が1,399百万円増加した一方で、自己株式が△1,028百万円、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の減少などによりその他の包括利益累計額が△5,386百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は64.2%と前連結会計年度末と比較し1.3ポイント増加するとともに、1株当たり純資産は1,167円46銭と27円18銭増加いたしました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

現金及び現金同等物は、期首と比較し576百万円増加し、53,726百万円となりました。なお、当連結会計年度では、現金及び現金同等物に係る換算差額により△753百万円減少しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と増減の要因は次のとおりであります。

- ① **営業活動によるキャッシュ・フロー**は、前期に比べ1,945百万円収入が減少し17,292百万円の収入となりました。税金等調整前当期純利益は19,492百万円であり、主な調整は減価償却費5,992百万円、売上債権の増加額△1,068百万円、仕入債務の増加額1,595百万円、前受金の減少額△2,619百万円、法人税等の支払額△5,238百万円であります。
- ② **投資活動によるキャッシュ・フロー**は、前期に比べ5,559百万円支出が増加し10,299百万円の支出となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出8,823百万円、連結範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出1,055百万円であります。
- ③ **財務活動によるキャッシュ・フロー**は、前期に比べ1,622百万円支出が増加し5,663百万円の支出となりました。主な支出は、配当金の支払額2,966百万円であります。

## (4) 今後の見通し

今後につきましては、各国の通商政策や世界経済の動向、地政学的なリスク等による影響が懸念されるものの、国内経済は企業の設備投資の増加を背景に雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調が継続するものと見込まれます。

このような状況のなか、当社グループでは、2019年4月より第三次中期経営計画をスタートいたしました。表面改質のスペシャリストとして真のグローバルカンパニーとなるため、3G経営（グローバル、グループ、ガバナンス）の確立に向けて、「グローバル競争に打ち勝つ成長戦略」「グループ経営の最適化」「ガバナンス改革」を基本方針とし、着実に実行してまいります。

次期の見通しといたしましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した結果、2020年3月期の通期の業績は、売上高1,235億円、営業利益175億円、経常利益206億円、親会社株主に帰属する当期純利益120億円を見込んでいます。装置事業で減収となる一方で、営業利益は一時的な費用の解消などにより、増益となる見込みです。

## 【次期連結業績（2020年3月期）の見通し】

(単位：百万円)

	2020年3月期 (予想)	増減	前期比
売上高	123,500	△5,707	△4.4%
営業利益	17,500	476	2.8%
経常利益	20,600	469	2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,000	575	5.0%

(次期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。なお、この業績予想は直近までの平均レートを参考に作成しております。)

**(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当**

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと考え、業績動向、配当性向ならびに将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、利益配分を決定しております。配当につきましては、連結配当性向20%を目途に、将来の事業展開及び収益水準を勘案しつつ、安定した配当を継続的に実施することで、株主の皆様の期待に添うべく努力してまいりたいと考えております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき11円を予定しております。既に実施しております中間配当金11円とあわせ、当期の年間配当金は1株につき22円となります。

なお、次期につきましては、当期と同額の1株につき22円の年間配当金を予定しております。

**2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方**

当社グループは連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,673	55,070
受取手形及び売掛金	36,673	37,179
電子記録債権	3,306	3,404
有価証券	1,632	3,243
商品及び製品	2,725	2,860
仕掛品	1,907	2,161
原材料及び貯蔵品	4,598	5,248
その他	3,572	2,682
貸倒引当金	△167	△163
流動資産合計	109,921	111,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,443	22,549
機械装置及び運搬具（純額）	16,621	17,574
土地	16,139	16,088
建設仮勘定	4,615	2,717
その他（純額）	2,077	2,045
有形固定資産合計	59,897	60,976
無形固定資産	1,390	2,307
投資その他の資産		
投資有価証券	37,397	32,612
退職給付に係る資産	104	85
繰延税金資産	1,505	1,721
その他	9,866	9,523
貸倒引当金	△96	△97
投資その他の資産合計	48,777	43,846
固定資産合計	110,066	107,130
資産合計	219,988	218,818



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,101	20,964
電子記録債務	1,100	1,592
短期借入金	190	50
1年内返済予定の長期借入金	1,271	769
未払法人税等	2,474	2,594
賞与引当金	2,578	2,697
役員賞与引当金	131	101
その他	12,047	8,457
流動負債合計	39,895	37,226
固定負債		
長期借入金	1,601	1,214
役員退職慰労引当金	294	205
退職給付に係る負債	9,491	9,549
繰延税金負債	4,266	2,984
その他	1,181	877
固定負債合計	16,836	14,832
負債合計	56,732	52,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,286	4,350
利益剰余金	122,455	130,910
自己株式	△7,539	△8,568
株主資本合計	123,762	131,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,943	9,382
繰延ヘッジ損益	3	△0
為替換算調整勘定	1,693	△226
退職給付に係る調整累計額	△50	47
その他の包括利益累計額合計	14,589	9,203
非支配株主持分	24,902	26,302
純資産合計	163,255	166,759
負債純資産合計	219,988	218,818

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	114,840	129,207
売上原価	71,642	85,228
売上総利益	43,197	43,978
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,786	2,149
役員報酬	621	553
従業員給料	7,527	8,152
賞与	2,125	2,129
賞与引当金繰入額	1,631	1,635
退職給付費用	836	744
減価償却費	1,202	1,235
その他	9,482	10,353
販売費及び一般管理費合計	25,213	26,955
営業利益	17,984	17,023
営業外収益		
受取利息	321	353
受取配当金	571	660
受取賃貸料	420	461
受取技術料	456	463
持分法による投資利益	1,036	1,134
その他	386	684
営業外収益合計	3,193	3,759
営業外費用		
支払利息	64	50
たな卸資産除却損	20	174
その他	341	427
営業外費用合計	427	652
経常利益	20,750	20,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	44	56
投資有価証券償還益	72	-
負ののれん発生益	162	-
その他	-	0
特別利益合計	279	56
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	97	170
投資有価証券評価損	-	100
関係会社株式売却損	-	212
関係会社株式評価損	-	117
段階取得に係る差損	163	-
減損損失	4	79
その他	23	12
特別損失合計	289	694
税金等調整前当期純利益	20,740	19,492
法人税、住民税及び事業税	5,394	5,505
法人税等調整額	172	72
法人税等合計	5,567	5,578
当期純利益	15,172	13,914
非支配株主に帰属する当期純利益	2,451	2,490
親会社株主に帰属する当期純利益	12,721	11,424

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	15,172	13,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,444	△3,493
繰延ヘッジ損益	-	△3
為替換算調整勘定	1,348	△2,110
退職給付に係る調整額	24	98
持分法適用会社に対する持分相当額	265	△406
その他の包括利益合計	5,083	△5,914
包括利益	20,256	7,999
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	17,304	6,122
非支配株主に係る包括利益	2,951	1,876

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,560	4,070	112,207	△7,546	113,291
当期変動額					
剰余金の配当			△2,473		△2,473
親会社株主に帰属する当期純利益			12,721		12,721
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				8	8
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		216		△0	216
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	216	10,247	7	10,471
当期末残高	4,560	4,286	122,455	△7,539	123,762

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,439	3	643	△79	10,006	23,204	146,502
当期変動額							
剰余金の配当							△2,473
親会社株主に帰属する当期純利益							12,721
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							8
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							216
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,504	0	1,049	28	4,583	1,698	6,281
当期変動額合計	3,504	0	1,049	28	4,583	1,698	16,753
当期末残高	12,943	3	1,693	△50	14,589	24,902	163,255

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,560	4,286	122,455	△7,539	123,762
当期変動額					
剰余金の配当			△2,968		△2,968
親会社株主に帰属する当期純利益			11,424		11,424
自己株式の取得				△993	△993
自己株式の処分				15	15
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		64		△50	13
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	64	8,455	△1,028	7,490
当期末残高	4,560	4,350	130,910	△8,568	131,253

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,943	3	1,693	△50	14,589	24,902	163,255
当期変動額							
剰余金の配当							△2,968
親会社株主に帰属する当期純利益							11,424
自己株式の取得							△993
自己株式の処分							15
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							13
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,560	△3	△1,920	98	△5,386	1,399	△3,986
当期変動額合計	△3,560	△3	△1,920	98	△5,386	1,399	3,503
当期末残高	9,382	△0	△226	47	9,203	26,302	166,759

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	20,740	19,492
減価償却費	5,381	5,992
減損損失	4	79
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	121
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	250	232
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△111	△88
受取利息及び受取配当金	△892	△1,014
支払利息	61	50
為替差損益 (△は益)	36	67
持分法による投資損益 (△は益)	△1,036	△1,134
固定資産売却損益 (△は益)	△43	△29
有形固定資産除却損	52	84
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,073	△1,068
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△150	△1,104
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,085	619
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,647	1,595
未払金の増減額 (△は減少)	107	△405
前受金の増減額 (△は減少)	1,486	△2,619
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△320	69
その他	△9	357
小計	24,014	21,297
利息及び配当金の受取額	1,171	1,304
利息の支払額	△45	△71
法人税等の支払額	△5,903	△5,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,238	17,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,916	△1,150
定期預金の払戻による収入	6,351	715
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△661	△797
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,005	400
有形固定資産の取得による支出	△8,154	△8,823
有形固定資産の売却による収入	82	172
貸付けによる支出	△18	△10
貸付金の回収による収入	257	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	290	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,055
関係会社株式の売却による収入	-	222
その他	23	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,739	△10,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	90	4
短期借入金の返済による支出	△30	△144
長期借入れによる収入	50	200
長期借入金の返済による支出	△669	△1,056
非支配株主からの払込みによる収入	-	234
自己株式の取得による支出	△0	△993
自己株式の売却による収入	8	15
配当金の支払額	△2,472	△2,966
非支配株主への配当金の支払額	△637	△649
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△75	△27
その他	△304	△279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,041	△5,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	407	△753
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,865	576
現金及び現金同等物の期首残高	42,284	53,149
現金及び現金同等物の期末残高	53,149	53,726



## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

### (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

### (会計方針の変更)

税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しております。これにより個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いを、連結財務諸表における子会社株式又は関連会社に対する投資に係る将来加算一時差異の取扱いに合わせ、繰延税金負債の取崩しを行いました。

なお、当該変更に伴う影響は軽微であります。

### (表示方法の変更)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等の適用

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報等)

### a. セグメント情報

#### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、経営組織の形態と製品及びサービスの特性に基づいて、「薬品事業」、「装置事業」及び「加工事業」の3つを報告セグメントとしております。

「薬品事業」は耐食性、耐摩耗性、潤滑性などの機能性向上を目的に、金属などの表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売を、「装置事業」は前処理設備、塗装設備、粉体塗装設備などの製造・販売を、「加工事業」は熱処理加工、防錆加工、めっき加工などの表面処理の加工サービス提供を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	45,599	20,292	44,536	110,428	4,411	114,840	—	114,840
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,146	502	56	1,705	1,141	2,847	△2,847	—
計	46,746	20,794	44,593	112,134	5,553	117,687	△2,847	114,840
セグメント利益又は 損失(△)	9,465	856	8,682	19,004	188	19,193	△1,209	17,984
セグメント資産	59,420	19,956	72,394	151,771	4,246	156,017	63,970	219,988
その他の項目								
減価償却費	1,261	131	3,216	4,609	192	4,801	579	5,381
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,898	98	3,663	6,660	654	7,315	1,353	8,668

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,209百万円には、セグメント間取引消去432百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,641百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

(2) セグメント資産の調整額63,970百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産83,215百万円が含まれております。なお、全社資産の主なものは、提出会社の一般管理部門及び研究部門に係る資産であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント資産に含まれる持分法適用会社への投資額は10,339百万円であり、主に提出会社の一般管理部門に全社資産として計上されております。

5 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度のセグメント資産については、当連結会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	47,658	30,514	46,034	124,206	5,000	129,207	—	129,207
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,065	461	39	1,566	1,315	2,881	△2,881	—
計	48,723	30,975	46,074	125,773	6,315	132,089	△2,881	129,207
セグメント利益又は 損失(△)	8,581	1,125	8,354	18,062	237	18,300	△1,277	17,023
セグメント資産	57,211	21,400	78,358	156,970	4,046	161,017	57,801	218,818
その他の項目								
減価償却費	1,458	141	3,556	5,156	203	5,360	632	5,992
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,150	123	5,436	7,709	177	7,887	648	8,536

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(3) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,277百万円には、セグメント間取引消去431百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,708百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

(4) セグメント資産の調整額57,801百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産81,070百万円が含まれております。なお、全社資産の主なものは、提出会社の一般管理部門及び研究部門に係る資産であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント資産に含まれる持分法適用会社への投資額は10,392百万円であり、主に提出会社の一般管理部門に全社資産として計上されております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日	当連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
1株当たり純資産額	1,140円28銭	1,167円46銭
1株当たり当期純利益	104円85銭	94円20銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載していません。

2. 株主資本において自己株式として計上されている資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する自社の株式は、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数  
前連結会計年度191,507株、当連結会計年度182,709株

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日	当連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
純資産の部の合計額	163,255百万円	166,759百万円
純資産の部の合計額から控除する金額 非支配株主持分	24,902百万円	26,302百万円
普通株式に係る期末の純資産額	138,352百万円	140,457百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数	121,332,320株	120,310,362株

4. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日	当連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
親会社株主に帰属する当期純利益	12,721百万円	11,424百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	12,721百万円	11,424百万円
普通株式の期中平均株式数	121,334,493株	121,279,001株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

2019年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2018年4月～6月	2018年7月～9月	2018年10月～12月	2019年1月～3月	2018年4月～2019年3月
売上高	28,091	31,896	32,251	36,968	129,207
売上総利益	10,517	10,867	11,451	11,141	43,978
営業利益	3,998	4,197	5,002	3,825	17,023
経常利益	5,066	4,979	5,690	4,393	20,130
税金等調整前当期純利益	5,043	4,949	5,687	3,813	19,492
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,829	3,184	3,771	1,638	11,424
総資産	218,642	220,088	220,715	218,818	—
純資産	161,987	165,729	166,166	166,759	—

2018年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2017年4月～6月	2017年7月～9月	2017年10月～12月	2018年1月～3月	2017年4月～2018年3月
売上高	25,641	27,824	29,967	31,406	114,840
売上総利益	10,521	10,588	11,611	10,476	43,197
営業利益	4,331	4,331	5,439	3,881	17,984
経常利益	5,094	5,298	6,297	4,059	20,750
税金等調整前当期純利益	5,100	5,275	6,303	4,060	20,740
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,955	3,414	4,033	2,317	12,721
総資産	196,545	204,738	211,629	219,988	—
純資産	149,106	155,844	161,781	163,255	—

2017年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2016年4月～6月	2016年7月～9月	2016年10月～12月	2017年1月～3月	2016年4月～2017年3月
売上高	24,714	25,784	25,853	33,217	109,569
売上総利益	9,603	9,874	10,223	11,574	41,275
営業利益	3,794	3,691	4,389	5,059	16,934
経常利益	3,868	3,865	5,434	5,610	18,779
税金等調整前当期純利益	3,844	3,828	5,479	6,641	19,793
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,327	2,424	3,602	3,874	12,228
総資産	183,478	184,466	188,604	197,260	—
純資産	136,265	135,991	137,483	146,502	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用前の数値です。

## (2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率
薬品事業	日本	27,870	29,894	2,024	7.3%	5,187	4,646	△ 540	△10.4%
	アジア	16,876	16,952	76	0.5%	3,497	3,158	△ 339	△9.7%
	欧米	853	810	△ 42	△5.0%	248	237	△ 11	△4.5%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	1,146	1,065	△ 81	△7.1%	531	539	8	1.6%
	計	46,746	48,723	1,976	4.2%	9,465	8,581	△ 883	△9.3%
装置事業	日本	10,429	15,425	4,996	47.9%	147	444	296	200.6%
	アジア	9,821	15,088	5,267	53.6%	479	393	△ 86	△18.0%
	欧米	41	—	△ 41	—	△ 8	△ 15	△ 6	△79.9%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	502	461	△ 41	△8.2%	238	303	65	27.6%
	計	20,794	30,975	10,181	49.0%	856	1,125	269	31.4%
加工事業	日本	26,489	27,232	742	2.8%	5,348	5,337	△ 10	△0.2%
	アジア	11,691	12,122	430	3.7%	2,624	2,384	△ 240	△9.1%
	欧米	6,354	6,679	324	5.1%	514	414	△ 99	△19.4%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	56	39	△ 16	△29.5%	194	217	22	11.7%
	計	44,593	46,074	1,480	3.3%	8,682	8,354	△ 327	△3.8%
報告セグメント計		112,134	125,773	13,638	12.2%	19,004	18,062	△ 942	△5.0%
その他	日本	4,326	4,908	581	13.4%	230	237	6	3.0%
	アジア	84	92	7	8.8%	△ 42	△ 0	42	99.8%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の内部売上高又は振替高	1,141	1,315	173	15.2%	△ 0	0	0	—
	計	5,553	6,315	762	13.7%	188	237	49	26.2%
合計		117,687	132,089	14,401	12.2%	19,193	18,300	△ 892	△4.7%
調整額		△ 2,847	△ 2,881	△ 34	△1.2%	△ 1,209	△ 1,277	△ 68	△5.6%
連結損益計算書計上額		114,840	129,207	14,367	12.5%	17,984	17,023	△ 960	△5.3%

## 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率
日本	73,610	82,517	8,907	12.1%	11,137	10,857	△ 279	△2.5%
アジア	38,543	44,406	5,863	15.2%	6,574	5,941	△ 632	△9.6%
欧米	7,258	7,514	255	3.5%	754	636	△ 117	△15.6%
合計	119,412	134,438	15,025	12.6%	18,466	17,436	△ 1,030	△5.6%
調整額	△ 4,572	△ 5,230	△ 658	△14.4%	△ 482	△ 412	69	14.4%
連結損益計算書計上額	114,840	129,207	14,367	12.5%	17,984	17,023	△ 960	△5.3%

## (3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

2019年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2019年4月～6月	2019年7月～9月	2019年10月～12月	2019年1月～3月	2019年4月～2019年3月
売上高	11,420	12,764	13,505	13,691	51,381
売上総利益	4,307	4,229	4,945	4,325	17,808
営業利益	1,333	1,162	1,837	833	5,166
経常利益	2,344	1,944	2,209	2,806	9,305
税金等調整前当期純利益	4,410	1,925	2,199	2,566	11,102
当期純利益	3,484	1,521	1,737	2,190	8,933
総資産	115,870	120,009	114,204	115,524	—
純資産	77,390	84,599	81,267	82,678	—

2018年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2018年4月～6月	2018年7月～9月	2018年10月～12月	2018年1月～3月	2018年4月～2018年3月
売上高	10,693	11,745	11,572	12,675	46,687
売上総利益	4,104	4,076	4,594	3,935	16,711
営業利益	1,420	1,315	1,789	1,166	5,692
経常利益	2,730	2,177	2,195	3,050	10,154
税金等調整前当期純利益	2,746	2,164	2,192	3,062	10,166
当期純利益	2,059	1,623	1,644	2,435	7,764
総資産	102,901	107,966	107,788	114,643	—
純資産	75,402	79,467	81,036	81,751	—

2017年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2017年4月～6月	2017年7月～9月	2017年10月～12月	2017年1月～3月	2017年4月～2017年3月
売上高	9,966	10,732	10,702	11,985	43,387
売上総利益	3,972	4,080	4,354	4,293	16,701
営業利益	1,283	1,232	1,568	1,342	5,426
経常利益	1,968	1,793	2,356	2,575	8,694
税金等調整前当期純利益	1,945	1,758	2,400	3,858	9,963
当期純利益	1,459	1,318	1,800	2,894	7,473
総資産	93,498	97,280	97,919	102,012	—
純資産	68,849	71,302	70,880	73,230	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用前の数値です。